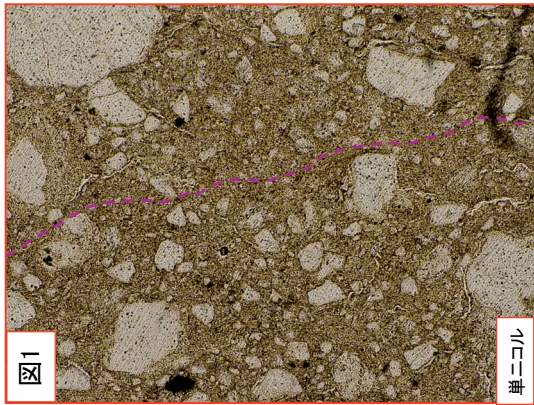
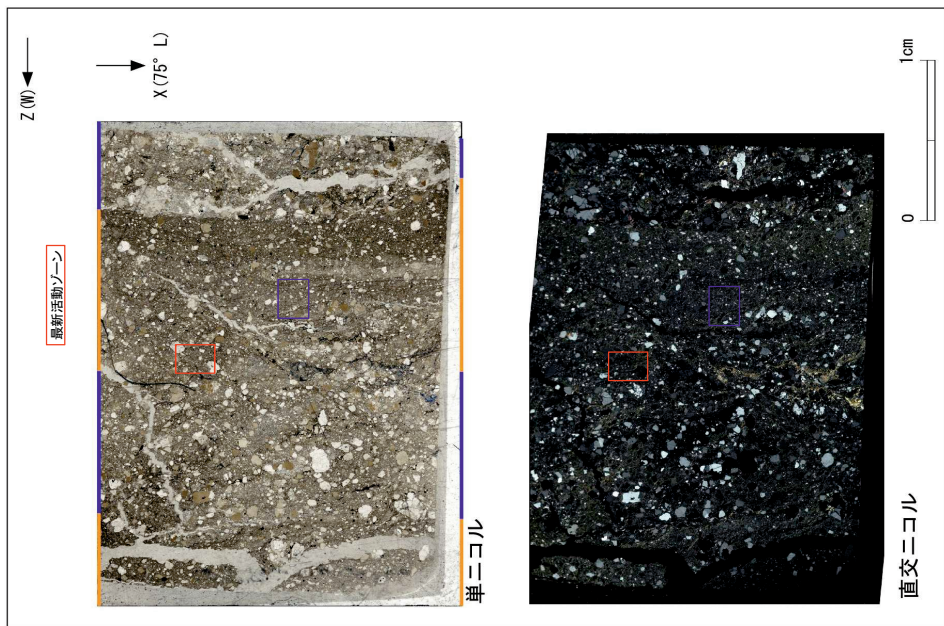
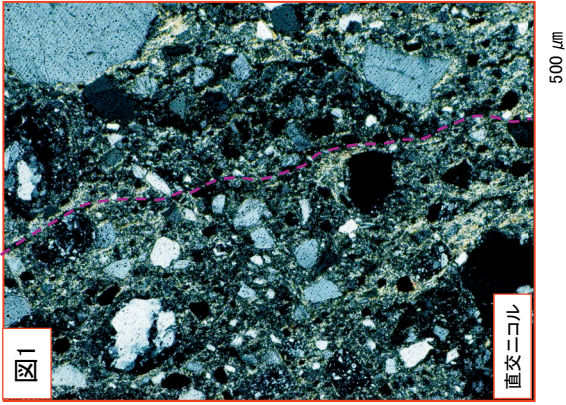
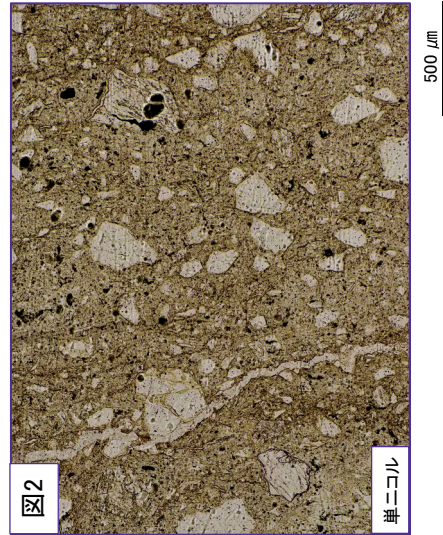


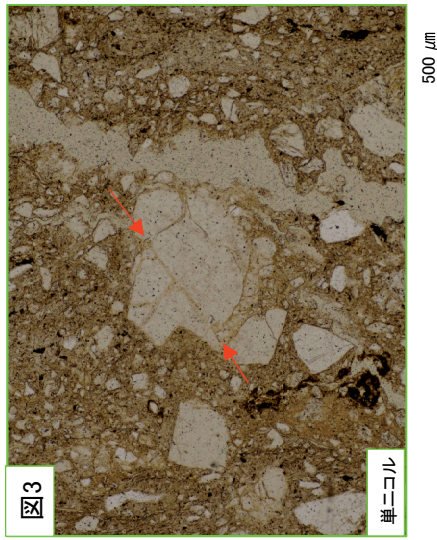
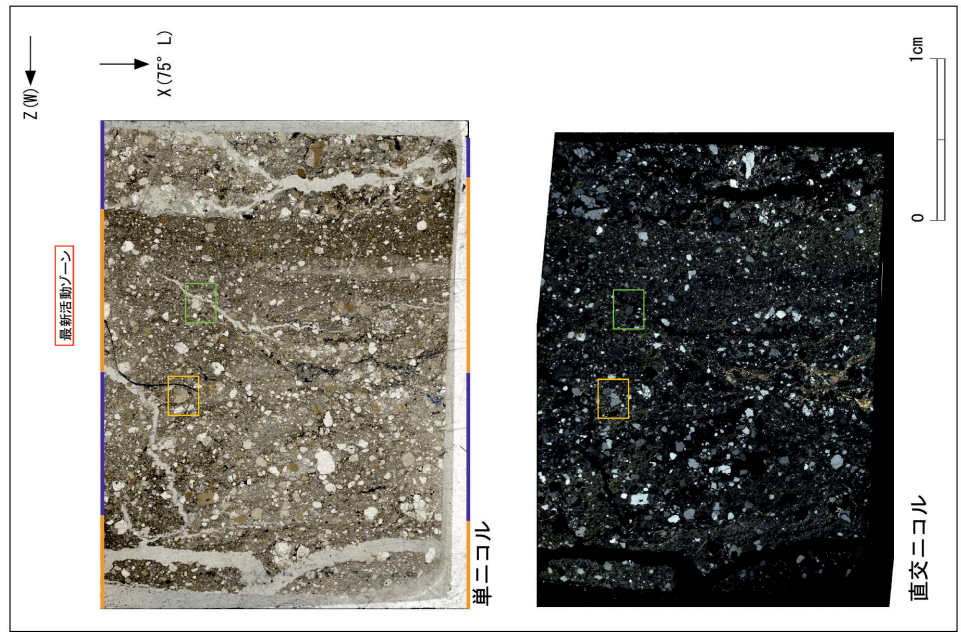
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
- 岩片は少ない。(図2)
- 角ばった岩片が多い。(図2)



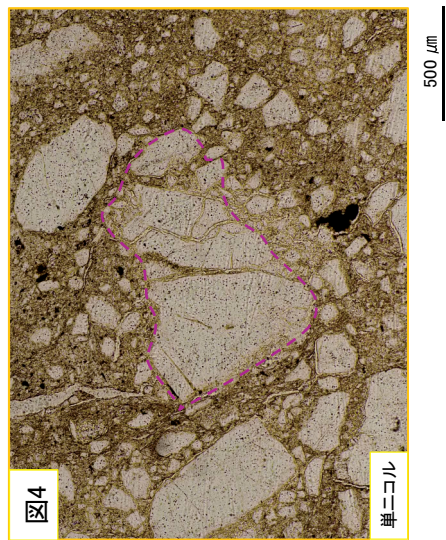
破線は帯状で直線的な粘土状部の範囲を示す



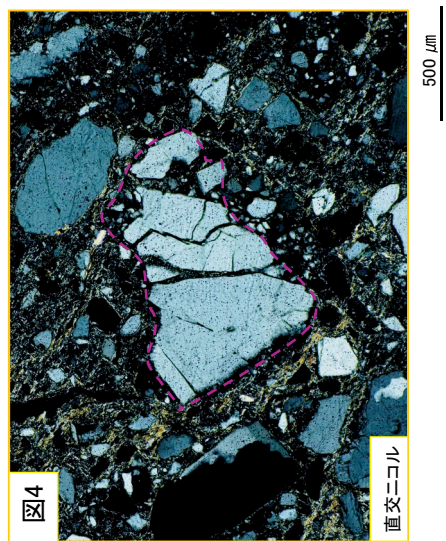
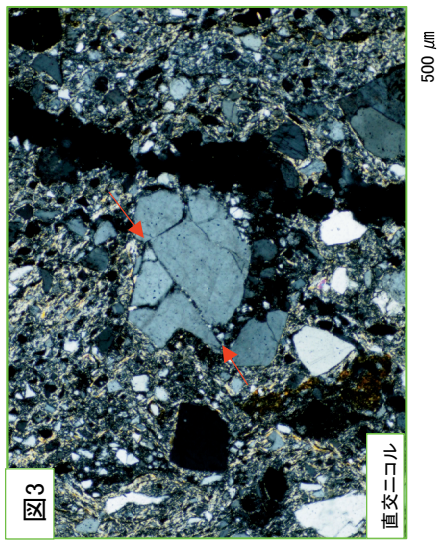
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)
- ジグソー状の角礫群が認められる。(図4)



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す



破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す



(肉眼観察結果 深度10.50m)

- 肉眼観察では、粘土状部は、軟質で、細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

(観察位置)

- 薄片試料は、肉眼観察により認定した断層面 $\alpha$ に沿って最も細粒化した部分を含み、人為的な試料の無い部分で作製した。

※断層面 $\alpha$ は最新活動面

(薄片観察結果)

- 薄片観察では、以下の通り断層ガウジの特徴が認められた。

- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。

- 薄片観察では、以下の通りカタクレーサイトの特徴が認められた。

- 角ばった岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- ジグソー状の角礫群が認められる。

最新活動ゾーンには、断層ガウジとカタクレーサイトの特徴が認められるが、カタクレーサイトの特徴は、カタクレーサイトに取り込まれたものと考えられる。

以上より、薄片観察結果では、最新活動ゾーンの細粒部を断層ガウジであると判断した。



(総合評価)

当該破砕部については、以下の理由から断層ガウジであると評価した。

- 肉眼観察で確認された粘土状部は、その特徴から断層ガウジであると判断した。
- 薄片観察で確認された最新活動ゾーンの細粒部は、その特徴から断層ガウジであると判断した。

断層ガウジ・断層角礫の有無	断層ガウジ・断層角礫の幅[cm]	明瞭なせん断構造・変形構造*
有	1.0	有

\*: 断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「有」の場合は肉眼観察結果を記載。

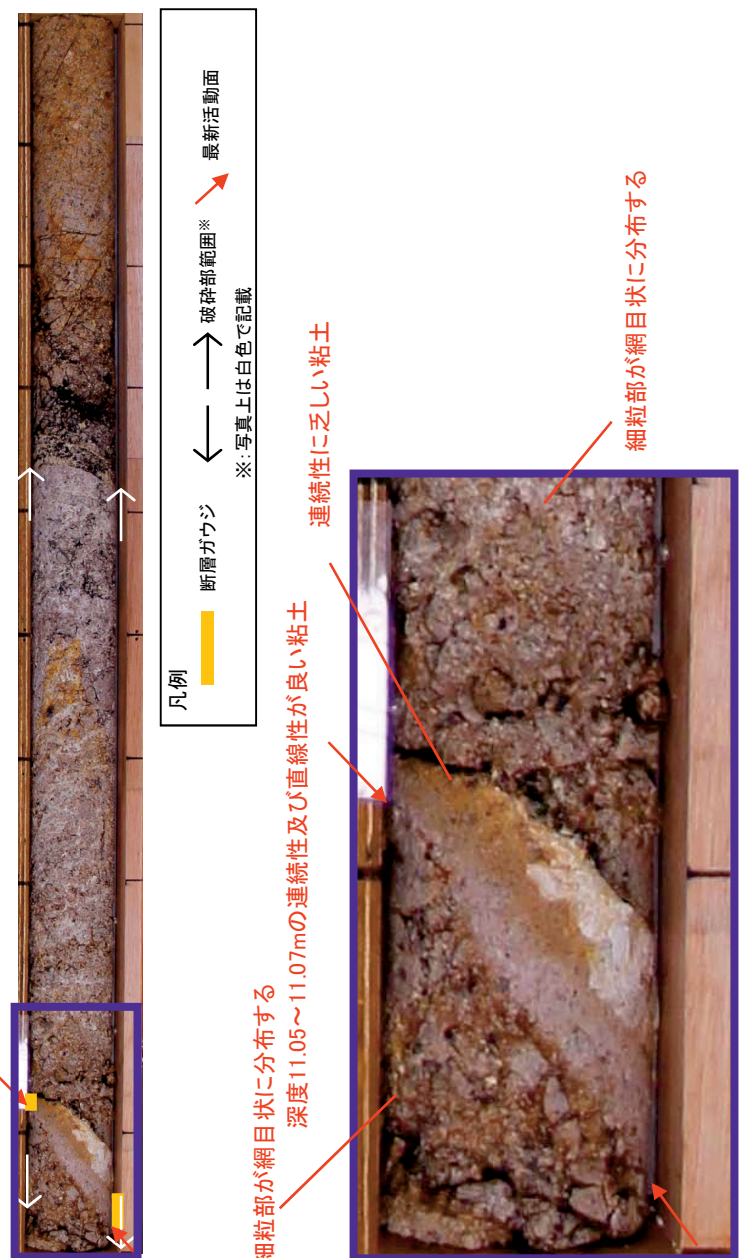
断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「無」の場合は「-」と記載して括弧内に肉眼観察結果を記載。

・深度11.02～11.05mの「粘土混じり岩片状破砕部 (Hj)」と記載の箇所については、やや硬質で、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことから変質したカタクレーサイトであると判断した。  
 ・深度11.05～11.07mの「粘土状破砕部 (Hc-1)」と記載の箇所については、やや軟質で、細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらことから断層ガウジであると判断した。  
 ・深度11.07～11.10mの「礫質粘土状破砕部 (Hb)」と記載の箇所については、やや軟質で、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織は認められないが、細粒部の連続性に乏しい。これらことから変質したカタクレーサイトであると判断した。含まれる細粒部は、変質したカタクレーサイト中の粘土脈である。  
 ・深度11.10～11.63mの「粘土混じり岩片状破砕部 (Hj)」と記載の箇所については、やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

破砕部性状の記事

- 11.02～11.63m：破砕部
- 11.02～11.05m：粘土混じり岩片状破砕部 (Hj)  
 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5～10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土～粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1～4cm。  
 11.05～11.07m：粘土状破砕部 (Hc-1)  
 上下端とも55°直線的に連続。径2～5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5～10mm。  
 11.07～11.10m：礫質粘土状破砕部 (Hb)  
 上端55°，下端47°で直線的であるが不連続。径5～10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。灰白～にぶい黄褐色を呈する。幅2.5～3cm。  
 11.10～11.63m：粘土混じり岩片状破砕部 (Hj)  
 上端47°，下端25°で直線的に連続。径3～5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網目状に分布する。にぶい黄褐色を呈する。

コア写真



・深度18.24～18.43mの「粘土・礫混じり砂状破砕部(Hb)」と記載の箇所については、やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

・深度18.43～18.86mの「粘土混じり礫状破砕部(Hj)」と記載の箇所については、やや硬質で、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

・深度18.86～18.87mの「砂混じり粘土状破砕部(Hc-2)」と記載の箇所については、軟質で、湾曲し直線性に乏しいが連続性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらことから断層ガウジであると判断した。

破砕部性状の記事

- 18.24～19.45m:破砕部(K断層)(変質作用による岩盤劣化もみられる)
- 18.24～18.43m:粘土・礫混じり砂状破砕部(Hb)  
 上端32°、下端22°。上部(18.24m付近)は粘土分に富む。下位のHjとの境界は不明瞭。灰褐色を呈する。
- 18.43～18.86m:粘土混じり礫状破砕部(Hj)  
 上端22°(不明瞭)、下端64°。一部に原岩の組織が認められる。不規則に灰白粘土を伴う。灰褐色を呈する。幅30cm。
- 18.86～18.87m:砂混じり粘土状破砕部(Hc-2)  
 上下端とも64°。不規則に湾曲するが連続している。オリブ黒色を呈する。幅5～10mm程度。
- 18.87～19.10m:礫混じり砂状破砕部(Hb)  
 上端64°、下端61°。下部(19.10m付近)には幅4mm程度にわたり灰白色粘土に富む。明褐色を呈する。幅10cm程度。
- 19.10～19.45m:角礫状破砕部(Hi)  
 下端59°で直線的。明赤灰色～暗緑灰色を呈する。幅20cm。



凡例  
 断層ガウジ  
 ※:写真上は白色で記載

深度18.86～18.87mの連続性が良い砂混じり粘土



細粒部が網目状に分布する

青砕部拡大  
 0 5 cm

・深度18.87～19.10mの「礫混じり砂状破砕部(Hb)」と記載の箇所については、やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

・深度19.10～19.45mの「角礫状破砕部(Hj)」と記載の箇所については、硬質で、一部に暗緑灰色や明赤灰色の細粒部が分布するが、いずれも連続性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことからカタクレーサイトであると判断した。

### 破砕部性状の記事

- 18.24～19.45m:破砕部(K断層)(変質作用による岩盤劣化もみられる)  
18.24～18.43m:粘土・礫混じり砂状破砕部(Hb)  
上端32°、下端22°。上部(18.24m付近)は粘土分に富む。下位のHjとの境界は不明瞭。灰褐色を呈する。
- 18.43～18.86m:粘土混じり礫状破砕部(Hj)  
上端22°(不明瞭)、下端64°。一部に原岩の組織が認められる。不規則に灰白粘土を伴う。灰褐色を呈する。幅30cm。
- 18.86～18.87m:砂混じり粘土状破砕部(Hc-2)  
上下端とも64°。不規則に湾曲するが連続している。オリブ黒色を呈する。幅5～10mm程度。
- 18.87～19.10m:礫混じり砂状破砕部(Hb)  
上端64°、下端61°。下部(19.10m付近)には幅4mm程度にわたり灰白色粘土に富む。明褐色を呈する。幅10cm程度。
- 19.10～19.45m:角礫状破砕部(Hi)  
下端59°で直線的。明赤灰色～暗緑灰色を呈する。幅20cm。

### コア写真



凡例  
 断層ガウジ  
 破砕部範囲※  
 ※:写真上は白色で記載

連続性に乏しい暗緑灰色の細粒部  
 連続性に乏しい明赤灰色の細粒部



水色砕部拡大  
 細粒部が網目状に分布する  
 0 5 cm